



理事長
中村伊知哉 氏



① デジタルサイネージは既に私たちの身の周りのあらゆるところにインフラとして普及しています。今後は屋外サインの LED ディスプレイへのリプレースによるデジタル化が、ますます進むのではないのでしょうか。さらに、行動規制が緩和され、人流も回復するなか、近年話題となった3D コンテンツやオーディエンスメッセージメント、配信のプログラマチック化はより進むでしょう。デジタル広告の需要も取り込んで、DOOH 広告は回復する可能性が高いです。サイネージ市場は、再び成長軌道に乗ると予想されます。

② サイネージは屋外広告物条例の規制緩和を通して、今や景観の一部としてまちや商業施設のにぎわい創出に欠かせないものとなっています。一方で光害対策など、周辺環境への配慮も期待されています。発足から16年目を迎えた当団体では、引き続き課題の解決とマーケットの拡大に取り組んでいきます。また、会員間のビジネスマッチングにも注力していきたいです。

